モントリオール交響楽団

Orchestre symphonique de Montréal

1934年創設。今年80周年を迎える。マルケヴィッチ、メータ、デ・ブルゴスらが音楽監督を務め、デュトワの時代にその色彩的で豪華な音色は「フランス以上にフランス的なオーケストラ」とされた。カーネギーホールなど世界各地でツアーを行い、ラヴィニアやタングルウッド音楽祭にも招かれている。2006年にナガノが8代目音楽監督に就任、楽団の音色は彼の厳しい指導でさらに磨きがかかることとなった。レパートリーも拡大し、ワーグナー、オネゲルやメシアンのオペラ作品の演奏会形式上演や、2010/11年にデュティユー、11/12年にはブーレーズのコンサート・シリーズを行う。録音では、ベートーヴェンやマーラーのシリーズがソニーから発売され、高く評価されている。